



いちようっ子

学校教育目標
強く 一心身ともに強く、鍛える子
正しく 深く考え、進んで学ぶ子
美しく 思いやりがあり、感動する子

子育ては悩みの連続!

校長 吉野 徳子

「継続は力なり」

人は、夢中になって一所懸命に頑張れることがあると、自分に自信がもてるようになります。他と比べて一番になるために、またそればかりではなく、自分が自分らしく頑張るためにと強い気持ちももてるからでしょう。子どもは、突然に、夢中になれるものが見つかるわけではありませんよね。だから、まずは、目の前のことを一つ一つ頑張ることから始めているのです。そして、色々なことを体験しながら、時には、諦めてしまいそうな時でも、少し続けさせていくことの繰り返しの中で、見つかるように思います。親は子どもの幼少期から、その加減をみながら励ましたり叱ったりしているのでしょうかね。



子育て奮闘記

娘が中学校2年生のとき、生活面が乱れて集中している様子が見られない時期がありました。

母である私と娘とのバトル

ふてくされたり中途半端な生活をしたり、注意をしてもどこ吹く風。案の定、成績もどんどん落ちていく。習っているピアノも全然練習しない。人の生活が崩れていくのは、本当に球が転げ落ちるようなスピードで、いわゆる奈落の底へ……。

「このままでいいの？」

「自分の生活を立て直すのは自分しかないよ。」と諭してもなかなか……。

私と娘とのバトルで主人が動き始めました。

その時に娘に語ったこと。

主人「何をしているとき楽しんだ。」

娘「学校も楽しくない。部活も楽しくない。ピアノも楽しくない。」

主人「何も楽しくないなら、勉強を死ぬほどやってみろ。今は中学生。勉強することが主な仕事。それを徹底してやってもいなくて、楽しくない!なんていうのは、間違っている。まず、徹底的に勉強してみろ。そのとき、必ず何かが見えてくる。」

娘「……………」

「蓋し名言!」と、私は心の中で思いました。

中途半端なことで、「楽しくない」と言い張る娘。何かに夢中になること、それが見つからないなら、まずは勉強!と、言う主人。なるほど……………。



「地域で育つ子どもたち」

少年野球団「シャークス」の団員から、「校長先生、僕たちであいさつ運動してもいいですか。」との申し出がありました。学級ごとの「あいさつ運動」は一週間ごと輪番制で行っています。

それから一歩も二歩も前進。

子どもたちは、自分たちの所属の団に自信をもってそして、なにかできることを考え、申し出てくれました。

とても、うれしい出来事です。きっと周りにはしゃる大人の方々が、このような子どもたちに育ててくださっているのでしょう。

子どもたちの成長をみることができました。

